

[マリオネット形式による三人版]

人形と操演者

- ・じいさま A
- ・ばあさま B
- ・おだんごパン C
- ・子ウサギ A
- ・子グマ B
- ・オオオカミ A
- ・キツネ B

背景

- ・おじいさんの家
- ・立木
- ・草むら
- ・袖幕またはこれに代わる衝立（上手、下手）

小道具

- ・粉箱と粉
- ・目鼻のないおだんごぱんと皿
- ・しりとりボード



やあ…みんな



おつかれさま…

1景 おじいさんの家

★中央に家の壁がある。一部が凹んで窓の設定

- じいさま 「[下手から登場] やあ…みんな、こんにちは [適宜やりとり] わたしは今、畑仕事から帰ってきたところなんだ…たくさん働いたんで…もうおなかがぺこぺこ [上手に向かって] ただいま…」
- ばあさま 「お帰りなさい [上手から登場] …おじいさん、お疲れさま」
- じいさま 「ああ、ばあさんや…お腹がすいて死にそうだよ」
- ばあさま 「それじゃあ ごはんにしましょうね」
- じいさま 「今日はまんまるころころのおだんごパンを頼むよ。お前の焼いたパンは世界一だからな」

ばあさま 「まあ…おじいさんたら…ホホホ…でも… [急に明るく] 残念でした一つ… [しらっと] 粉がありません 明日粉を買ってきて作ってあげますよ」

じいさま 「いやだ いやだ…絶対おだんごパンが食べたい…今食べたい…」
ばあさま 「こまりましたねえ… [と上手から箱を取り出して下へ置いてなだめるように] ほーら…粉がないんですからパンはまた今度にしましょうね」



ほーら空っぽ…

じいさま 「いやだ、いやだ一つ今食べるんだ、今すぐじゃないといやだー [手足をバタバタさせ、だだをこねる]」

ばあさま 「そんなこといっても…ほーら [箱を傾けて] か・ら・っ・ほ」

じいさま 「どれ [覗き込んで] いやあ…あるある [うれしそうに] あるぞ一つ…ちょうど一つ分はあるよ…どれ、わたしがやってみよう… [歌うように粉を集める] ひのふのみ…ひのふのみ…トントントン…キュッキュッキュツ…ほら集まった… [粉を箱から出し、ばあさまに渡して] これでいつものように頼むよ…」



ほら集まった…

ばあさま 「はいはい では焼いてきますからね…おじいさんは踊りでも踊っていてください [上手に入る]」

じいさま 「[見送って] 頼むよ…踊りたたってねえ…わたしは腹ペコなんだよ [と言いながらも根が陽気なもので踊ってしまう] それでは待っている間大好きなパンのうたでも歌っているかい… [歌って踊る]」

パーンパーン パーンパーン

パンパンパンパカパンパンパーン

アンパン ジャムパン クリームパン チョコパン

いろんなパンがあるけれど 一番おいしい おだんごパン

むかしパンをやいたのは 六千年も前のこと

小麦を粉にして こねあげて こねあげて

エジプトの母さんたちが おいしいパンを 焼き上げた

パンパンパンパン パンパンパンパン

パーン パーン パンパンパン

じいさま 「もうできたかな?… [上手に向かって] まだかーい」

ばあさま 「はいはい できましたよ… [皿に乗ったパンをもって出てくる]

ちょっと不思議なんですけどね、このパンはオーブンの中でおじいさんの歌に合わせて動いていましたよ…」

じいさま 「そうかいそうかい… [パンをのぞき込んでから子どもに] ほらどうだい うまそうなパンだろ [パンにさわって] アッチチー」

ばあさま 「だめですよ さめるまでもう少しまってください [窓辺にパンを置きここで目鼻付きと交換] ここに置けばすぐ冷めますよ」



パンパンパン(踊る)



はい…できましたよ



Z…Z…Z…

じいさま 「[がっかりして] 早く食べたいなあ…」
 ばあさま 「二人で待ちましょね。さあさあここに座って… [二人上手寄りに座る]」
 じいさま 「あーあ [あくびをする] なんだか眠くなってきたぞ…」
 ばあさま 「そういえばわたしも…あーあ [とあくび]」
 じいばあ 「お前はいつも眠いんだよね では、おやすみ [二人眠りこむ]」

★パン窓辺で左右に動き出し、正面を向く [目鼻がある]



こんにちは…

おだんごパン 「こんにちは…ぼくまんまるころころのおだんごパンだよ。おじいさんの歌…おかしかったね…ぼくオープンの中ですっかり覚えちゃったよ…さて…いつまでもここでじっとしているのやだなあ…どこかへいきたいなあ… [ぐるりと見回して、二人に気づいて] おじいさんとおばあさん寝てる? [二人動き出す] あっ、起きそうだ…みんな、だまっていたね [窓辺で後ろ向きになる]」



さて、さめたかな…?

じいさま 「あーあ [大あくび] よく寝た…パンはどうした…もう冷めているだろう」
 ばあさま 「そうですね [二人が窓辺へ行き、パンをとろうと近づくとパンが少し揺れ動いたかと思うと振り向く]」



二人はびっくり…

じいさま 「おや…パンに目がある…」
 ばあさま 「あら…鼻がある…」
 じい&ばあ 「口もある…」
 おだんごパン 「こんにちは」
 じい&ばあ 「わあ… [そろって腰を抜かす]」

★以下パンは両側の二人に、①じいさまの頭の上⇒②ばあさまの頭の上へと移動し、最後は窓辺へ



窓から見送る…

おだんごパン 「ぼく、広い世界を見てくるね バイバーイ… [上手に去る]」
 じいさま 「あーあ 行ってしまったよ…あんなにかわいい顔をしてはとも食べる気にはならないけど…いい子だったな もっと話があったなあ… [気を取り直して子どもたちに向かって] みんな…これからあのおだんごパンがどうなるか、しっかりみていておくれよ…おばあさんや、わたしも気になるからちょっと後を追いかけてみるよ…おだんごパンやーい… [上手に追いかけていく]」
 ばあさま 「気をつけてくださいよ… [見送り後、背景ごと転換]」

2景 原っぱ



草むらにウサギ…

★中央に草むらがある。裏に子ウサギがスタンバイ 上手からパン登場
 おだんごパン 「うわーい…外は広いなあ…おじいさんの家からずいぶん転がってきたけどまだまだ道はどこまでも続いているよ [草の後ろでウサギが顔を出している] えっ?何かいるの? [子どもたちに]」

ウサギ? どこに? 後ろ? [うさぎ引っ込む] いないよ… [草むらに近づくと…]

子ウサギ 「ばあ… [飛び出す]

おだんごパン 「わあっ…ウサギくん」

子ウサギ 「きみ…おいしそうだね… [無邪気に] 食べてもいい?」

おだんごパン 「だめ [きっぱり] これからぼくいろんなところをみて いっぱい遊ぶんだもん」

子ウサギ 「遊びかあ…ぼくも遊ぶの大好きだよ…じゃあ鬼ごっこしようよ…
それでぼくが君を捕まえたら食べてもいい?」

おだんごパン 「うん、それならいいよ…だって僕の方がぜったい早いもんね」

子ウサギ 「なんだって…それじゃあ捕まえるぞ それ一っ [追いかける]

おだんごパン 「うわーい…こっちだよ… [上手に入りウサギも追いかけて上手へ入るとパンは下手へ向かって逃げ、ウサギが追いつき下手へ入る]

子ウサギ 「[もう一度下手からパンが逃げ、追いかけている] ここにかくれちゃおう… [草むらに飛び込む]

おだんごパン 「あれ? ウサギくんがいなくなった [と上手から出てくると]

子ウサギ 「[草むらの後ろから突然] そーれ捕まえた」

おだんごパン 「うわーっ」

子ウサギ 「いただきまーす…どこから食べようかな」

おだんごパン 「待って…ウサギくん 食べられる前に歌を歌わせて」

子ウサギ 「歌? いいよ…僕も歌大好きなんだ」

おだんごパン 「じゃあ歌うよ…手拍子してね [子どもたちに] みんなもね」

パンパンパンパン パンパンパンパカパンパンパン

アンパン ジャムパン クリームパン チョコパン

いろんなパンがあるけれど 一番おいしい おだんごパン

パンパンパンパン パンパンパンパン

パーンパーン パンパンパン バイバーイ

★歌の最後でウサギが手拍子をしているうちにパンは逃げてしまう

子ウサギ 「あーっ 逃げられちゃった… [思い直して] でもいいや、ぼく、本当は遊びたかったんだよ。うちに帰っておかあさんにニンジンケーキを作ってもらおうと [子どもたちに] じゃあねピョーン [下手に去る]

おだんごパン 「[上手から出てきて] ああ面白かった…」

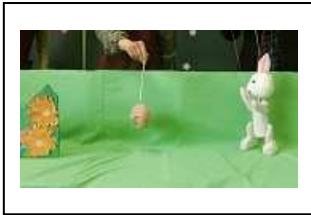
子グマ 「[下手からクマが登場、きよろきよろしながらぱんに近づいて] やあ…君とってもおいしそうだね…食べていいかい?」

おだんごパン 「だめ… [きっぱり] これからぼくいろんなところをみて いっぱい遊ぶんだもん」

子グマ 「それならぼくとしりとりをしようよ…それでぼくが勝ったら君を



鬼ごっこしよう…



まて一っ…



捕まえた一っ…



バイバーイ…



君おいしそうだね…

食べていい？」

おだんごパン 「うんそれならいいよ。ぼく負けないから… [ボードを出す]」

子グマ 「それじゃ、ぼくからはじめるよ…ぼくはクマだからくま…」

おだんごパン 「ま ま ま…まり」

子グマ 「り り り り…りんご…」

おだんごパン 「ご ご ご ご…ごりら」

子グマ 「ら ら ら ら…らっぱ…」

おだんごパン 「ぱ ぱ ぱ ぱ [歌になりそうになってつい…] ぱん」

子グマ 「やったあ…ぱんはおしまいに<くん>がつくたからぼくの勝ちだ…」

おだんごパン 「負けちゃった…じゃ、食べてもいいよ…でもその前に一回だけ歌を歌わせてよ」

子グマ 「うん いいよ」

おだんごパン 「ありがとう…歌うよ…手拍子してね」

子グマ 「わかった…」

パンパンパンパン パンパンパンパカパンパンパン

アンパン ジャムパン クリームパン チョコパン

いろんなパンがあるけれど 一番おいしい おだんごパン

パーンパーン パンパンパン バイバイ

★子グマが手拍子をしていると歌の途中でパンが逃げてしまう

子グマ 「あーあ 逃げちゃった… [気を取り直して] でもいいや、ぼく本当はお母さんが作ってくれたハチミツパイが一番好きなんだ [上手に去る]」

★下手寄りに立木を出す…下手からオオオカミ登場

オオカミ 「ウォー…腹ペコだ…なんか食いものはないか？おや…向こうからうまそうなものが…よし… [立木にかくれるとパンが歌いながら登場するので立ちふさがって] 止まれーっ…お前を食ってやる」

おだんごパン 「待って…ぼくを食べるのならその前に歌を歌わせて…」

オオカミ 「歌だと？」

おだんごパン 「そう…歌…ぼくが歌うから一緒に踊って手拍子してね」

オオカミ 「おれは腹ペコなんだ…なんで手拍子するんだよ」

おだんごパン 「もっとお腹をすかせて食べたらもっとおいしいよ…」

オオカミ 「なるほど [単純に納得] ようし…歌が終わったらお前を食ってやるぞ」

おだんごパン 「いいよ…じゃあ歌うよ」

アンパン ジャムパン クリームパン チョコパン

いろんなパンがあるけれど 一番おいしい おだんごパン

パーンパーン パンパンパン バイバイ

オオカミ 「[歌が始まると] うあーっ うまそうな歌だなあ…ますます腹が減



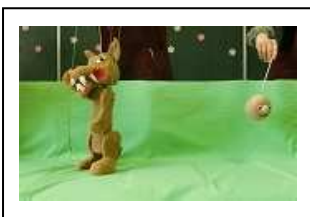
しりとりボード登場…



バイバイ…



お前を食ってやる…



バイバイ…

ってきた [といいながらも律儀に手拍子、尻尾まで振ってノリノリのうちにパンはいなくなる] バイバーイって…あれっ? パンがいなくなった…おーい待てーっ…オレは何をしているんだ…手拍子なんかしている場合じゃなかったよ…しょうがねえなあ…オレの父ちゃんは赤ずきんを食べそこなって毛皮にされちゃうし、おれも大失敗…いやだいやだあ…なあ…ねえみんな…おれってドジかな? そう…やっぱり…ね [スゴスゴと上手に退場]

★オオカミと入れ違いにキツネ登場

キツネ 「あの間抜けなオオカミったら泣きながら歩いていくけど、また何かドジをしたのね…ばかみたい…あら、フンフン [地面を嗅ぎまわり、下手をうかがいながら] いいにおい…こんがり焼けたパンだわ…、ね、みなさんパンでしょ? あたくしパンが大、大だーいの大好きですの [パンの歌がきこえてくる] あら…パンが来る…みなさん、だまっけていてくださいね… [立木にかくれるとパンが登場]



おパンちゃん…

おだんごパン 「ねえみんな、ぼくって頭いいよね。だって、みーんなからにげちゃったもんね。ほら、おじいさんとおばあさんでしょ、ウサギ君でしょ、クマ君でしょ、オオオカミさんからだって逃げたんだ [キツネ登場]

キツネ 「あーらあらあら、おパンちゃん あなたってほんとにえらいのね」

おだんごパン 「[子どもに] このキツネさんはいい人? …え? …悪い人? そんなことないよね。だってぼくのことほめてくれたもん」

キツネ 「そうよ、おパンちゃん、あなた歌もうまいのねえ」

おだんごパン 「うん、キツネさんもっと聞きたい?」

キツネ 「ええ、ええ、もちろんよ、聞かせてちょうだい」

おだんごパン 「いいよ [子どもがだめといたら] 大丈夫だよ…うたうよ…

アンパン ジャムパン クリームパン チョコパン

いろんなパンがあるけれど 一番おいしい おだん

ごパン



尻尾のところで…

[キツネが無関心な様子なので途中でやめて]

どうしたのキツネさん…歌を聞かないの?」

キツネ 「え? もう歌っていたの? あたくしちょっと耳が悪くてよく聴こえなかったの…お願い、もう一回初めから歌ってもらえるかしら…できればあたくしの尻尾のところで… [と尻尾を振る]

おだんごパン 「うんいいよ [尻尾のところで]

アンパン ジャムパン クリームパン チョコパン

[途中でやめて] どうしたのキツネさん歌聞かないの?」

★このあたりでじいさまが下手に登場…キツネとパンのやりとりを見守る



鼻の上で…

キツネ 「え？もう歌っていたの？やっぱり…きこえないわ…もっと近くで
今度はあたくしの鼻の上で歌ってくださる？ [鼻を上に向ける]」
おだんごパン 「鼻の上？変なところだね、でもいいよ…はいっ [鼻に乗る] …

アンパン ジャムパン …」

キツネ 「パクッ [大口でパンをくわえる] さあつかまえた…」

じいさま 「こらーっ [下手から出てキツネに体当たり]」

きつね 「あらーっ… [パンが口から飛び出し、キツネ上手に倒れる]」

おだんごパン 「おじいさーん (あちこち飛び回り喜びの表現) ありがとう…」

じいさま 「[パンに] よかったよかった…これからは気をつけて広い世界を見
ておいで…わたしはいつでもお前をみているよ…」

きつね 「[起き上がり上手で] くやしいーいっパンを食べそこなったわ…[強
がって] なによあんなパンなんか固くてまずくて食べられたも
のじゃなかったのよ じいさんなんて大っきらい…フン [上手
に立ち去る]」

じいさま 「[子どもたちに] さあ、これでおだんごパンの人形劇はおしまい…
最後にもういちど パンのマーチの歌を歌ってさよならしよう…
それではパンや…わたしと一緒に歌っておくれ」

おだんごパン 「わかった、歌うよ…」

パーンパーン パーンパーン

パンパンパンパカパンパンパーン

アンパン ジャムパン クリームパン チョコパン

いろんなパンがあるけれど 一番おいしい おだんごパン

パンパンパンパン パンパンパンパン

パーンパーン パンパンパン



フィナーレ

★歌の途中から人形たちカーテンコールのような形で登場し…歌終わりで
おしまいボードを出して…

全員 「おしまーい」



おしまいボード